

社会実験の概要

期間:平成25年12月1日(月)～平成26年2月28日(金)

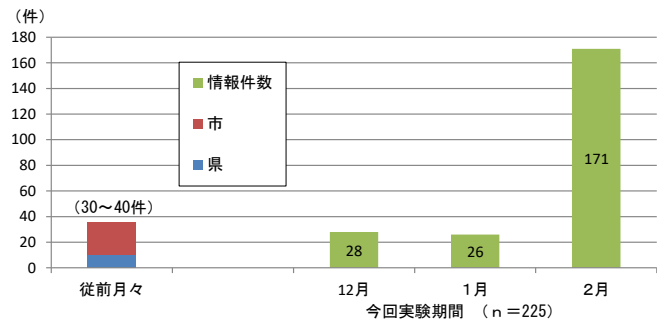
内容:地理空間情報やスマートフォン等のICT技術を活用して、市民からの道路の不具合等に関する情報収集、道路管理者からの通行規制情報の配信等が可能な仕組みを構築し、双方向のコミュニケーション手段を確立する。また、道路維持管理に係る情報の収集・伝達の活性化を図り、対馬市が抱える道路行政上の課題解決を目指す。

- ① ICTを活用したリアルタイムな情報収集及び円滑な伝達手段の確立
- ② 市民を交えた多様な主体の参画による情報収集機会及び情報量の拡大
- ③ 地理空間情報を用いた位置精度及び写真画像を用いた情報精度の向上
- ④ 共通のプラットフォームの構築による情報の均質化及び処理・対応の平準化
- ⑤ 情報一元管理及び分析・伝達手段のシステム化による双方向コミュニケーションの実現



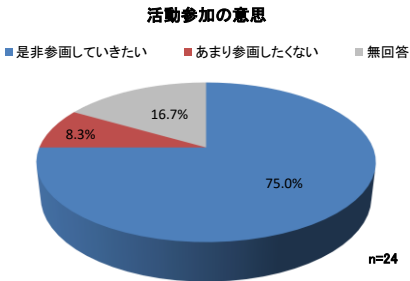
実験結果

- ① モニターによる投稿情報件数の変化
- ・市民からの道路に関する投稿総件数は、3か月間で、225件

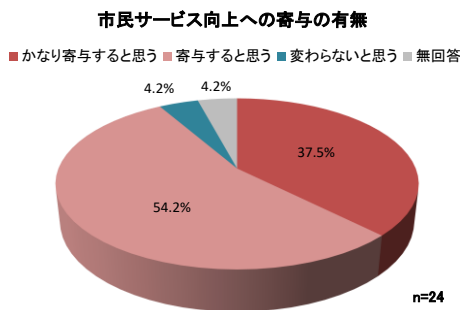


- ③ 道路不法占用の抑制効果の検証
- ・道路不法占有に関する投稿13件のうち、11件について対応を完了
 - ・歩道上の幟旗等の広告物は所有者に撤去を指導
 - ・LPGボンベについては、占有許可申請を提出するよう指導
 - ・ごみステーションは、個人設置のものは占有許可申請提出を指導、市設置のものは環境部局と協議

- ② 市民の道路行政への参画意識
- ・良い道路環境を確保していくために、行政と一緒に活動に参画していく意向があるかについては、「是非参画したい」が75.0%となり、「あまり参画したくない」8.3%を大きく上回った。



- ④ システムの市民サービス向上への寄与
- ・本実験の道路情報収集システムが市民サービスの向上に「寄与すると思う」が54.2%と最も多く、「かなり寄与すると思う」(37.5%)を合わせると、90%以上が効果を期待している



本格実施に向けた課題

- 1) システムの課題

2) 地図情報・位置情報の課題

3) 携帯端末の機種、通信環境等の課題

4) 操作性等の課題

5) 情報収集・投稿者の範囲

6) 情報提供の範囲についての課題
- 7) 法制度上の課題

8) 採算性の課題

9) 運営体制上の課題

10) 道路不法占有抑制の課題

11) 情報活用の課題

12) 官民連携による道路維持管理活動の推進に向けた課題